

2026.1.10 土 ▶ 3.22 日

駿河国分寺展

登呂博物館冬季企画展

～片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ～

国華の寺に迫る

登呂博物館冬季企画展

駿河国分寺展

～片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ～

国史跡片山廃寺跡から名称変更された駿河国分寺跡は、2025年で史跡指定60周年を迎えます。駿河国分寺はどのような寺院だったのか、これまでの発掘調査の成果などから考えられる施設や遺構、遺物の紹介、他の国分寺との比較を通し駿河国分寺とは何かをご紹介します。

展示概要

1 片山廃寺跡の発見・発掘の歴史

片山廃寺跡が発見、発掘調査された歴史を紹介します。片山廃寺の発見に至った踏査や発掘調査のきっかけになった登呂遺跡との関連などにも触れます。

2 片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ

片山廃寺跡は発見当時から氏寺説と国分寺説が唱えられました。国分寺と断定されるに至った経緯について発掘調査成果や他国の国分寺との比較から紹介します。

3 静岡市内の奈良・平安時代

駿河国分寺が存在した時代の静岡市内の風景はどのようなものだったのでしょうか。ここでは静岡市内で発見された奈良・平安時代の主な遺跡と出土品を紹介します。

4 片山廃寺跡の発掘調査成果

片山廃寺跡の発掘調査成果から、立地・伽藍の配置・規模・建物・瓦・土器類など調査によって明らかになったことを基に駿河国分寺の風景を復元していきます。

5 市内最古の古代寺院 尾羽廃寺

静岡市内には、もう一つの古代寺院跡である尾羽廃寺跡があります。発掘調査成果を通して両寺院の関係を紹介します。

6 おわりに

駿河国分寺跡の整備について、これまでとこれからを紹介します。



軒丸瓦（駿河国分寺跡）



鬼瓦（駿河国分寺跡）



軒平瓦（駿河国分寺跡）

関連講演会 「片山廃寺跡から駿河国分寺跡へ - 史跡名称変更の意義 -」

国指定史跡駿河国分寺跡は令和7年に国指定史跡片山廃寺跡から名称が変更されました。これまで片山廃寺跡の整備委員会やこの度の名称変更に大きく携わっている上原氏に、氏寺と官寺という対比から古代寺院の歴史的理解についてご講演いただきます。

- 日時 令和8年3月1日（日）13:30～15:30
- 講師 京都大学 名誉教授 上原 真人 氏
- 場所 登呂博物館1階 登呂交流ホール
- 費用 520円（国庫代）※国庫に講演資料を掲載しています。
- 定員 50人程度
- 申込 登呂博物館HPからの電子申請または電話による事前申込制（先着順）
- 申込期間 令和8年2月1日（日）9時～

展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。

- 日時 令和8年1月12日（月祝）、2月8日（日）、3月21日（土）各10:30～11:00 14:00～14:30
- 場所 登呂博物館 2階 特別・企画展示室
- 費用 無料（要観覧料）



（バス）
JR 静岡駅南口22番乗り場から
石田坂道線「登呂遺跡」行き（10分）終点下車
（車）
東名静岡 IC から10分
東名日本平久能山スマートICから10分
遺跡南側に有料駐車場50台有り（普通車一回400円）

駿河国分寺について、詳しい話が聞けるよ！

静岡市埋蔵文化財センター テーマ展

駿河国分寺指定記念「掘り出された奈良時代 - まつりと信仰の移り変わり -」

- 開催期間 令和8年1月18日（日）～3月27日（金）
- 場所 静岡市埋蔵文化財センター1階ギャラリー（静岡市清水区横砂東町33-2）



観覧料 | 一般300円、高校・大学生200円、小中学生50円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

TEL 054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



静岡市立登呂博物館

